

# 留学報告書

記入日：2022年5月20日

基本情報	
所属学部・学科	経営学部 経営学科
性別	<input type="checkbox"/> 男性 <input checked="" type="checkbox"/> 女性
留学先国	カナダ
留学期間	2022年 1月～ 2022年 4月
留学時の学年	2年生（渡航した時の学年）
帰国年月日	2022年 4月 28日
明治大学卒業予定時期	2024年 3月
留学先大学について	
大学名（英文・和文）	英文：University of Victoria 和文：ヴィクトリア大学
所属学部またはコース名	経営学部
キャンパスの所在地	Victoria, BC V8P 5C2 Canada
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦（Academic Year）	春学期：1月～4月（期末試験期間： 4月11日～4月29日） 秋学期：9月～12月（期末試験期間： 12月9日～12月20日）
所属学部の学生数	792名
留学生の割合	20%

留学にかかった費用			
項目	現地通貨 (CAD)	円	備考
授業料		円	<input checked="" type="checkbox"/> 交換留学のため、留学先への授業料免除
宿舍費	\$4,731.2	472,040円	一ヶ月：118.28
食費	\$1,163	116,000円	一ヶ月：29,002(meal planを除いた外食費等)
通学費		円	キャンパス内の寮だったため無し。
学校用品	\$48	4,788円	
教養・娯楽費	\$1,458	145,488円	
被服費	\$1,220	121,740円	
医療費	\$273.7	23,715円	PCR検査代
保険費	\$663	63,174円	保険会社：海上日動保険、 guard me international insurance
渡航費	\$500	49,980円	JAL 特典航空券利用
旅行費	\$2,890	288,328円	留学中に旅した国：オーストラリア
旅行費	\$2,544	253,835円	留学中に旅した国：カナダ(トロント、ケベック、モントリオール)
奨学金/助成金		円	奨学金： 助成金：
その他	\$220	21,949円	sim代
合計	15,710.9	1,567,476円	

## 渡航について

### 1) 航空券を購入した時期

留学先へ出願後 入学許可書受領後 ビザ取得後 出発直前 その他 ( )

### 2) どのように購入しましたか？

航空会社(JAL, Air Canada)ホームページから

### 3) 渡航経路を教えてください。

(往路) 成田 空港－バンクーバー 空港(経由)－ビクトリア 空港  
(復路) バンクーバー 空港－シドニー 空港(経由)－羽田 空港

### 4) 航空券代金

利用航空会社: JAL, Air Canada  
往路: 49,980 円  
復路: 187,622 円  
合計: 237,602 円

### 5) 渡航に関するアドバイスがあればご記入ください。

直前になると価格が上がるため、旅程が決まり次第早めに航空券予約をすることをお勧めします。

## 留学中の滞在先について

### 1) 種類 (留学中の滞在先)

寮 アパート ホームステイ その他 ( )

### 2) 部屋の形態

個室 相部屋 (同居人数: )

### 3) 住居の探し方

留学先機関が斡旋 自分で探す

### 4) 大学までの利用交通機関と通学時間 (片道)

利用交通機関 バス 電車 自転車 徒歩 その他 ( )

通学時間 (片道) キャンパス内の寮のためなし。

### 5) 滞在中の食事について

【平日】	【休日】
朝: <input checked="" type="checkbox"/> 寮 <input type="checkbox"/> 自炊 <input type="checkbox"/> 外食 <input type="checkbox"/> その他 ( )	朝: <input checked="" type="checkbox"/> 寮 <input type="checkbox"/> 自炊 <input type="checkbox"/> 外食 <input type="checkbox"/> その他 ( )
昼: <input checked="" type="checkbox"/> 寮 <input type="checkbox"/> 自炊 <input type="checkbox"/> 外食 <input type="checkbox"/> その他 ( )	昼: <input type="checkbox"/> 寮 <input type="checkbox"/> 自炊 <input checked="" type="checkbox"/> 外食 <input type="checkbox"/> その他 ( )
晩: <input checked="" type="checkbox"/> 寮 <input type="checkbox"/> 自炊 <input type="checkbox"/> 外食 <input type="checkbox"/> その他 ( )	晩: <input type="checkbox"/> 寮 <input type="checkbox"/> 自炊 <input checked="" type="checkbox"/> 外食 <input type="checkbox"/> その他 ( )

### 6) 滞在先に関する総合的な感想 (これから留学する人のためのアドバイス)

キャンパス内での滞在は安全面や利便性が高くなるのでお勧めです。いつでも知り合いが近くに住んでいるため、困ったときや必要な時にすぐに会いに行けるのもメリットです。レジデンスの種類は大きく分けて Student dorm と Cluster housing の二種類があり、Student dorm に滞在する人は自炊のためのキッチンがないため原則 Meal plan に入ることになります。Cluster housing の場合はキッチンが付いており、Meal Plan はオプションとして購入することができます。調理器具や冷蔵庫を除くキッチン家電等は自分達で用意する必要がありますので友人は一緒にルームメイトたちと話し合っ購入していました。多くの Cluster housing には毎週末たくさんの学生が集まりパーティーを行います。

またいずれのルーム形態もシーツを含むベッドセットは自分で用意することになっており、現地で調達する必要があります。最初の一週間は Residence services office で借りることができます。

## 現地に関する情報

1) 留学中は病院にかかりましたか？	
□はい（利用機関名： ） □いいえ	
2) 大学内の医務室や診療所で医療サービスは受けられますか？	
☑はい □いいえ □わからない	
3) 学内外で問題があったときには誰に相談しましたか？	
Residence services office, international student advisor	
4) 留学先大学に相談窓口はありましたか？	
☑はい □いいえ □わからない	
5) 現地の危険地域に関する情報はどのように収集し、どう防犯対策をしましたか？	
情報収集	□現地コーディネーター ☑友人 ☑ネット（参考サイト： ） □その他（ ）
防犯対策	夜は一人で down town に行かないようにしていました。Air Tag で貴重品の管理をしていました。
6) 実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれましたか？	
□はい ☑いいえ	
7) 6で「はい」と答えた方：その際どのように対処しましたか？	
8) パソコン、携帯電話、インターネットについて、現地での利用状況はいかがでしたか？	
パソコン	問題ありませんでした。寮では携帯よりもパソコンの方が wifi の接続が安定します。
インターネット	大学内は基本的に全て wifi が使えます。外出時には渡航前に購入した PhoneBox の esim でモバイルデータ通信を行っていました。現地での携帯電話番号を持つと便利です。
携帯電話	日本に比べて速度が遅いですが、街で wifi が使える場所はたくさんあります。
9) 現地での資金調達はどのように行いましたか？ お勧めの方法があれば紹介して下さい。	
デビットカードを使っており、親に自分の日本の口座に一度入金してもらいました。現地の大学の保険料支払いの際にカナダの銀行口座を持っている必要がありました。銀行にはパスポートと学生ビザのみ用意して行ったところすぐに口座を開設することができました。	
10) 日本から持参すべき物があればご記入ください。	
マスク(日本のように薬局などで充実していませんでした)、ヒートテック、変換プラグ(カナダ国外にも旅行する場合)、電源タップ、気になるのであれば防水防雪の靴(降らないと聞いていたのに初日から大雪でした。またビクトリアでは毎日のように雨が降ります。)、粉末のお茶、スキンケア用品	
<b>進路について</b>	
1) 進路	
□就職 □進学 ☑未定 □その他（ ）	
2) 進路選択はいつ・どのようにされましたか？	
3) 就職を選択した方は、内定時期とその企業を選んだ理由を教えてください。	
内定時期	

## 留学に関するタイムチャート

2021年9月～11月 募集要項公開～選考試験日	必要書類の作成、面接練習
2021年12月～2022年4月 合格発表後～出願準備期間	
2021年5月～11月 出願後～渡航の準備	ワクチン接種、寮の抽選応募、科目選択、航空券手配、生体認証、ビザ取得 コロナのため出発を8月→1月に変更。
2021年12月 留学開始直前	esim 準備、PCR 検査、荷造り
2022年1月 留学開始	入国時検査で陰性証明が出るまでの間ホテル滞在→入寮 オリエンテーション 授業開始
2022年1月～2月 留学中	オンライン授業(現地にて) Chinese new year で友達とパーティー 週末にバンクーバー旅行 バディなどとドライブ 大学ジムのプログラム参加開始
2022年2月～3月 留学中 (或いは帰国後)	対面授業、中間考査、Reading Break 中の旅行(トロント→ケベック→モントリオール) 大学対抗アイスホッケー・バスケットボール観戦
2022年4月 留学中	対面授業(終盤はほとんどがグループワーク) 4回のプレゼンテーション、期末課題 就活イベント(オンライン) 帰国前にオーストラリア旅行(アデレード→シドニー)
2022年4月～5月 帰国後	帰国後書類作成

## 留学体験記

あなたが「留学」という道を選択した理由を教えてください。	
一番の理由は自分の知見を広めたかったからです。中学高校と留学を経験してきて、英語と英語圏の文化に慣れることができました。大学では経営学部に入り、Great で英語と経営の両方に注力してきました。そしてこれから社会に出る時は海外の人と仕事をする機会がさらに多くなると考えました。そのため現地で経営を勉強することで国際的に役立つ人材になる力とそれに必要な知識を増やしたいと思い、留学を決意しました。	
語学について	
受験した語学能力試験	<input checked="" type="checkbox"/> TOEFL-iBT <input checked="" type="checkbox"/> TOEIC <input type="checkbox"/> IELTS <input type="checkbox"/> その他（試験名： ）
ご自身の英語力向上に効果があった勉強方法	日常的に英語で会話をする機会を作ることです。授業は取れるものであればほとんど英語で行われる授業を取っていました。またアルバイトも英語をメインで使用するアルバイトを行っていました。洋楽が好きでよく聴いており歌詞が聞き取れるようになったので、英語が関連していることを趣味にするのも効果的かと思います。
総合的なアドバイス	英語に触れる時間が増やせば自然と英語は伸びていきます。反対に、英語に触れなくなると留学を経験していても英語力をキープすることは難しいです。そのため普段から英語に触れざるを得ない環境を作ることが大事だと思います。また、英語のスコアを取るために試験を受ける際、英語力に心配がなくても問題形式に慣れておくための練習をすることが好ましいと思います。特に時間配分を間違えないように気を付ける必要があると思います。
この留学先を選んだ理由を教えてください。	
教育水準が世界トップレベルで高いというカナダの大学に興味があったためです。また、多くの国の人たちとの繋がりを持ちたく、留学生の割合が高い点にも魅力を感じました。ビクトリアの治安が良いという点も大きな理由の一つです。	
大学（キャンパス）と学生の雰囲気をお教えてください。	
大学（キャンパス）	カナダの中では規模が小さいですが、緑が多く穏やかな環境です。孔雀やリス、鹿など色々な動物を見ることができます。海外の大学では珍しく、全ての建物が徒歩圏内にあります。Pub や大型ジム、カフェや薬局などの施設も充実しています。キャンパス内に Busloop というバスターミナルがあり、ダウンタウンなどに直接行くことができるためアクセスも良好です。キャンパスを出て坂を下ると bay やスーパー、郵便局などに行くこともできます。
学生	親切な人がたくさんいます。カナダに限らずさまざまな国からの学生が訪れており、オープンな人ばかりなので簡単に友達を作ることができます。留学生はヨーロッパの学生半数と、アジアの学生半数という印象でした。人種差別などはありませんでした。授業中は指名されなくても自分で思ったことを発言することが普通でした。そのため積極的な人が多い印象がありました。勉強と遊びの切り替えが非常にはっきりしています。私はいませんが、ハロウィンの夜のキャンパスは日本では見られないような盛り上がりです。
現地での交友関係について教えてください。	
正規学生との交流	最初の3週間は対面のイベントや授業がなかったため、寮で会ったりした人などにたくさん話しかけて友達を作りました。また、バディプログラムを活用して現地の知り合いを増やしたりもしました。週末のパーティーには友達以外にも様々な人が来るため、その場で友人関係を広げることもできました。カナダの人はオープンで親切な人が多い一方、深い関係を築くことは少し難しいと感じました。ですが広く友人関係を作ることができると思います。

<p><b>留学生との交流</b></p>	<p>初日に出会ったシンガポールの留学生達からコミュニティが広がりました。また、留学生向けのキャンパスツアーでもたくさんの人と繋がることができました。経営学部は全体的に留学生の割合が高く、私が選択していた授業は大半が留学生というものばかりでした。その上、グループワークが多かったため留学生のコミュニティはとても簡単に広がりました。国籍が非常に様々なのでどの人と関わるのもとても楽しいです。WhatsApp のグループでは情報収集や遊び相手を探したりなど 100 人以上の留学生同士で日常的にコミュニケーションを取っていました。</p>
<p><b>留学先大学主催のイベントについて教えてください。</b></p>	
<p>コロナ禍でイベントは通常より少ない印象でした。レジデンスの中では、ハイキングや謎解きイベントがありました。学校全体では色のついた粉を投げ合う Color Run などがありました。</p>	
<p><b>課外活動について教えてください。</b></p>	
<p>たくさんのクラブ活動があります。洞窟を探索するクラブや、スキークラブ、サーフィンなどスポーツ系が充実しています。ボランティアや研究、ファッションなどのクラブもたくさんありました。</p>	
<p><b>一日の課題の量を教えてください。</b></p>	
<p>1日2時間ほど時間を費やしていました。理系学部と比較すると経営学部は課題が少ない印象でした。ですが授業によってかなり量に差があります。特に多かったのはレポート作成でした。グループでのレポート作成が多く、授業外の時間に集まることも多かったです。日常的に小テストを出題する授業もありました。また、授業が3時間ほどの科目では、最初の1時間がグループ課題の時間に割り当てられておりました。</p>	
<p><b>期末試験について教えてください。</b></p>	
<p>私は期末試験ではなく、代わりに研究レポートなどの課題が出されました。レポート課題では Word で 20-30 ページほどのボリュームのものをグループで作成しました。また、個人では word10 ページほどのレポートや、同じ量のポートフォリオというタームの総まとめを作成したりしました。全ての科目でプレゼンテーションを行いました。グループで4つ、個人で1つのプレゼンテーションを行いました。</p>	
<p><b>留学先で直面した困難（壁）について教えてください。</b></p>	
<p>これまでは講義をただ聴くという授業スタイルに慣れていたので、グループワークで自分の意見を詳しく述べるのが難しく感じました。グループの中にはスロバキアなど思ったことを率直に述べるローコンテキストの国から来た学生が多く、何かを断りたい時など日本人の曖昧な断り方では気持ちが伝わらないと感じることが多々ありました。そこで、グループ内で実際に課題に取り組む前にお互いの文化でどのように意見を伝えるのかのディスカッションを行いました。その話し合い以降は話し合いがよりスムーズになり、私もたくさん意見を出せるようになったためより良いアイデアが生まれるようになりました。</p>	
<p><b>これから「留学」を考えている人へメッセージをお願いします。</b></p>	
<p>授業は半分学生主導です。先生は講義をすることもそうですが、発言してきた学生と話を掘り下げていき新しいアイデアを生むことにもたくさん時間を割こうとします。私はディベートの時に周りの学生たちの意見交換のレベルに毎回圧倒させられていました。そのため自分でも深いディベートをやりたいと思い留学中に「The debate」というポッドキャストを聴いたり、ビジネスのニュースを調べて知識を深めたりしました。 また、留学は終わってみると本当に一瞬に感じるものです。海外の大学生活は日本の大学生活と全く違います。この経験ができるのは本当に今だけだと思うので雰囲気を楽しんでたくさん新しい経験をし、より良い留学経験にしてほしいです。</p>	

## 留学先で履修した授業科目

記入日： 2022 年 6 月 日

### 学習レポート（留学先で履修した科目ごとに記入してください）

1) 留学先	ヴィクトリア大学
2) 留学先で取得した単位数	6 単位
3) 本学で認定された単位数	<input type="checkbox"/> 単位 <input checked="" type="checkbox"/> 現在単位認定中（認定予定の単位数：12 ） <input type="checkbox"/> 単位認定はしません （理由： ）
4) 留学先で履修した科目について	
履修した授業科目名①	
Business English Communication	
科目設置学部	経営学部
履修期間	13 週間 (34.66 時間)
留学先の単位数	1.5
帰国後の単位認定	<input checked="" type="checkbox"/> 3 単位認定 ※本学で認定された単位数を書いて下さい。 <input type="checkbox"/> 単位認定しません
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input type="checkbox"/> その他（ ）
授業時間数	1 回 80 分の授業が週 2 回
担当教授	Ms. Kerstin Heilgenberg
授業内容	ビジネスシーンにおける英文メール形式、企画提案書の作成、ビジネスプレゼンテーションなどに関する学習。
試験・課題など	ビジネスメール作成、peer review、プレゼンテーション(個人+グループ)、リサーチペーパー
感想を自由記入	クラスが多国籍だったため、授業内容も多国籍な環境でのビジネスにフォーカスしたコミュニケーションや書類作成が多く扱われ、違う文化を持つ人たちと円滑にビジネスを進めるための知識を増やすことができるともためになった。
履修した授業科目名②	
Fundamentals of Marketing	
科目設置学部	経営学部
履修期間	13 週間 (36.83 時間)
留学先の単位数	1.5
帰国後の単位認定	<input checked="" type="checkbox"/> 3 単位認定 ※本学で認定された単位数を書いて下さい。 <input type="checkbox"/> 単位認定しません
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input type="checkbox"/> その他（ ）
授業時間数	1 回 170 分の授業が週 1 回
担当教授	Dr. Lawrence Saunders
授業内容	経営の基盤となる知識に関する、人事や生産管理、ブランディングなどさまざまな視点からの学習。
試験・課題など	中間試験、期末試験、グループタスク、カンパニーリサーチ、グループプレゼンテーション
感想を自由記入	経営者として会社を動かすために必要な知識を網羅することができた。特に、インターネットの普及によって急増しているインフルエンサーマーケティングなどについて学べたことが良かった。また、グループワークでは、特定の会社の競合他社との比較をしながらビジネスリサーチを行い、新たなマーケティングプランを作成するという実践的な内容を行いマーケティングの際に考慮すべき点を学ぶことができた。

履修した授業科目名③	
Introduction to Canadian Business	
科目設置学部	経営学部
履修期間	13 週間 (34.66 時間)
留学先の単位数	1.5
帰国後の単位認定	<input type="checkbox"/> 3 単位認定※本学で認定された単位数を書いて下さい。 <input type="checkbox"/> 単位認定しません
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input type="checkbox"/> その他 ( )
授業時間数	1 回 80 分の授業が週 2 回
担当教授	Dr. Thomas Stuart
授業内容	毎週異なるカナダの企業に焦点を当て、その企業が成功あるいは衰退するまでのプロセスや環境要因などについて学び、カナダ特有のコンディションに合わせた経営方法などを理解する。
試験・課題など	リサーチペーパー、グループプレゼンテーション、ポートフォリオの作成、ディスカッションの投稿
感想を自由記入	カナダのさまざまな企業の実例を取り上げて細かくビジネスリサーチを行い、カナダの主な貿易相手国であるアメリカの保有資源や企業などと比較して研究をすることができた。プロダクトや事業計画ごとにアプローチするカスタマーグループの策定などをグループやクラス全体で意見を出し合ったり、ディスカッションが多くあったため、より積極的に問題について考察することができた。
履修した授業科目名④	
International Environment of Business	
科目設置学部	経営学部
履修期間	13 週間 (34.66 時間)
留学先の単位数	1.5
帰国後の単位認定	<input type="checkbox"/> 3 単位認定※本学で認定された単位数を書いて下さい。 <input type="checkbox"/> 単位認定しません
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input type="checkbox"/> その他 ( )
授業時間数	1 回 80 分の授業が週 2 回
担当教授	Ms. Carmen Galang
授業内容	さまざまな国におけるリストラクションなどの環境要因を考慮したビジネスプランの考察やビジネスモデルのリサーチ
試験・課題など	毎週の小テスト、リサーチペーパー(個人+グループ)、グループプレゼンテーション
感想を自由記入	法律の違いや主要産業、天然資源など国によって異なりビジネスに影響をする要因を考慮しながら、その国ごとに合った経営方針について学んだり、グループでディスカッションを行うことで理解を深めたりすることができた。グループでのリサーチではニュージーランドについて研究を行い、特定の企業がビジネスをスタートすることで起こるメリットやデメリット、PESTLE を活用した分析を行い実用的なリサーチをする良い機会となった。